

# 議会運営委員会行政視察報告

(平成29年1月19日~20日)

## <視察内容>

兵庫県 宝塚市(議会運営、議会改革)

京都府 福知山市(議会運営、議会改革)



宝塚市での視察の様子

## <視察者>

委員長	黒木金喜
副委員長	海野誓生
委員	近藤勝久
委員	日高和広
委員	三樹喜久代
委員	黒木万治
委員	溝口 孝
委員	西村豪武

# 宝塚市

平成29年3月1日現在

人口	225,153	人
世帯数	95,139	世帯
面積	101.89	km <sup>2</sup>



○26年度決算

一般会計歳出決算額	財政力指数	経常収支比率
716億3,490万円	0.86	96.3%

うち議会費決算額	議会費の割合	議員数
4億8,832万円 (日向市2億3,650万円)	0.7% (日向市0.8%)	26人

# 宝塚市議会の組織

区分	委員会名	定数	主な所管・調査事項
常任	総務	9	企画経営部、総務部、会計課
	文教生活	8	市民交流部、健康福祉部、子ども未来部、市立病院、教育委員会
	産業建設	8	都市安全部、都市整備部、環境部、産業文化部、消防本部、上下水道局、農業委員会
	議会運営	8	議会運営
特別	(なし)		

## ◆協議、調整の場

- 議員総会
- 会派代表者会
- 広報広聴委員会
- 常任委員長会議
- 正副委員長会議
- 議員研修会
- 常任委員協議会
- 議会改革検討委員会…議会改革を担当



好評  
発売中

宝塚市議会60周年記念誌

# 「歌劇のまち」の 議会改革

～市民とともに歩む宝塚市議会をめざして～



議会改革の歩み  
を記念誌として  
発刊！

### 【背景】

- ・ 2代続けて市長が贈収賄事件で逮捕、辞職
- ・ 相次ぐ三セクの破たん、多額の市費の損失



議会のチェック機能の不備、議決責任への厳しい批判



議会改革への  
機運の高まり

宝塚市政が大きく変動したこの10年、  
宝塚市議会が取り組んだ「議会改革」を振り返る！

# 議会改革の主な取組(H9～)

- ・ 委員会の原則公開
- ・ 政治倫理条例の制定
- ・ 海外視察の廃止
- ・ 特別委員会の費用弁償廃止
- ・ 委員会記録の公開
- ・ 会議録の議員への配布取りやめ
- ・ 対面式発言席の導入
- ・ **議会図書室の移転、施設拡充**
- ・ 一般質問の一問一答制
- ・ 請願審査への紹介議員出席義務
- ・ 議長等選挙の立候補制
- ・ 議員研修への市民参加
- ・ 議会基本条例の制定
- ・ 議会報のフルカラー化
- ・ 賛否の公表
- ・ 反問権の実施
- ・ **議員間の自由討議**
- ・ **委員会での論点整理**
- ・ **政策研究会の設置**
- ・ **議会報告会、意見交換会の実施**
- ・ 会議のFM放送、ネット中継
- ・ **議会危機対策支援本部の設置**
- ・ 議会フェイスブックの運用開始
- ・ 政務活動費の使途見直し
- ・ **議会講演会、議場コンサートの実施**
- ・ 一般質問スケジュール等の早期案内
- ・ 請願審査における請願者の口頭陳述



市民に開放している議会図書室（図書購入費40万円／年）

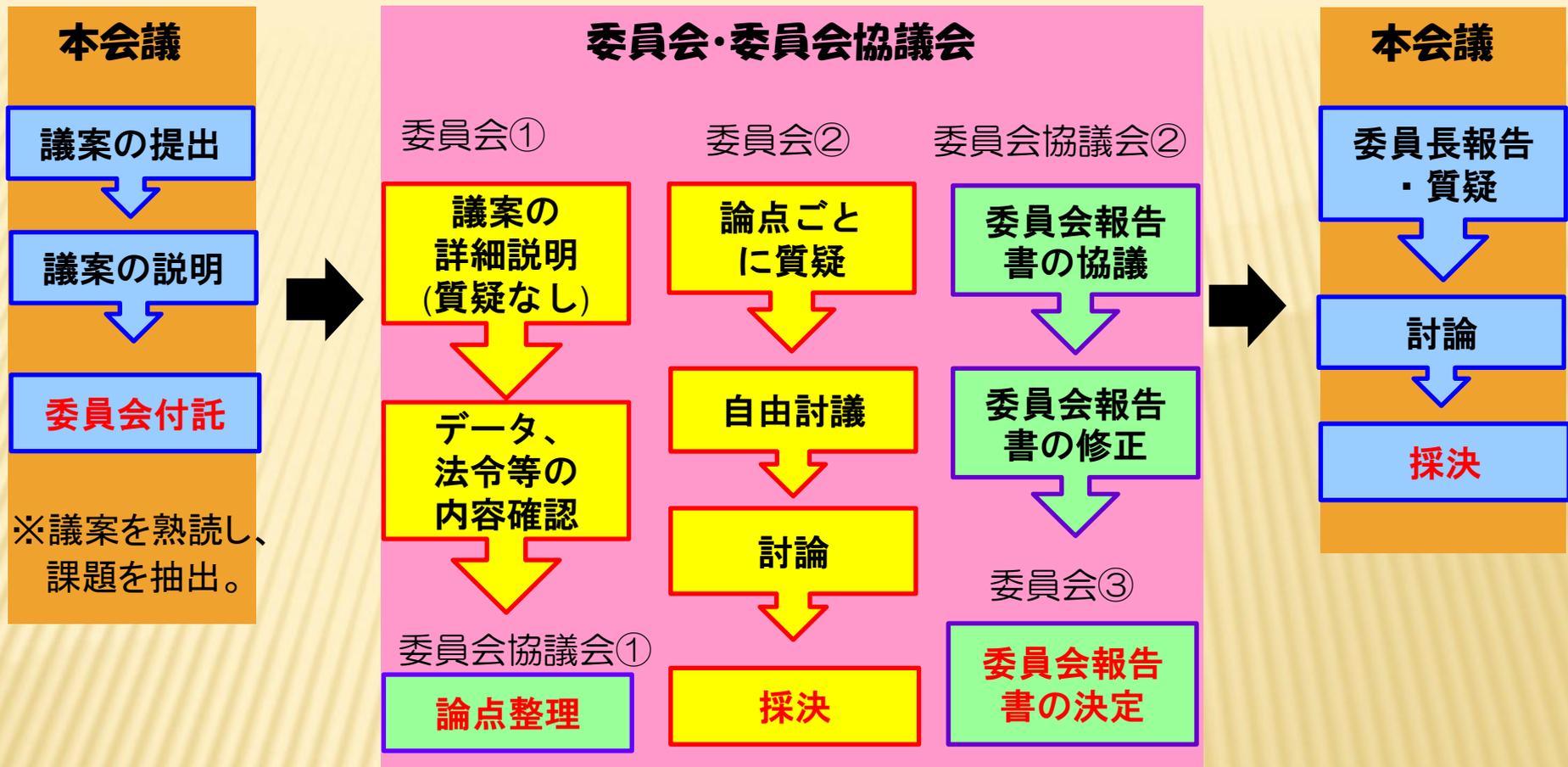
# 特色ある議会運営

## 1 議案審査の充実…委員会での論点整理と自由討議の導入 (H23.9~)

- 質疑中心の委員会審査から、委員間の意見交換により議論を深めるもの。
- 審査の前に委員会協議会を開き、**論点整理**や請求資料を決定する。

変更前	変更後
本会議(1日目)で提案説明 ↓ 希望会派への議案説明  ↓ ※ 一般質問  本会議(5日目)で議案の付託 ↓ 委員会 ↓ 本会議(最終日)で委員長報告、採決	本会議(1日目)で提案説明、議案の付託 ↓ <b>委員会①</b> (議案に対する詳細説明) ↓ <b>委員会協議会①</b> (論点整理) ↓ <b>委員会②</b> (質疑、自由討議、討論、採決) ↓ ※ 一般質問  <b>委員会協議会②</b> (委員会報告の協議) ↓ <b>委員会③</b> (委員長報告の決定) ↓ 本会議(最終日)で委員長報告、採決

一般質問は、委員会審査の後に変更。



- ・ 議論のポイントとなる**論点を整理**した上で質疑を行う。⇒ **審査の円滑化**
- ・ 議案審査に当たって委員間で自由な意見交換(**自由討議**)を行う。
- ・ 委員会は1日1委員会の開催とし、他委員会の傍聴が可能 ⇒ **委員会の見える化**
- ・ 会議の回数が増えたため、**会期は5週間程度**となっている。
- ・ 委員会報告書が全議案の逐語記録のため、事務量が膨大

議案概要、論点ごとの質疑、自由討議、討論、採決結果、その他

## ◆ 自由討議

- 議会基本条例に「委員相互間の自由討議を尽くして合意形成に努める」と規定
- 原則として論点整理の段階で意見の相違があった場合に実施することとしているが、現状ではすべての案件で実施
- 質疑が出尽くした段階で質疑を終結せず(質疑の一時中断)、自由討議を開始
- 自由討議が出尽くした段階で、質疑に戻し、再度、質疑がないかを確認  
⇒ 質疑と討論の間に自由討議を実施するという概念ではないため、会議規則や委員会条例に「自由討議」を明記しない。

### <効果・メリット>

- 審査の内容が深まった。各委員の発言の真意等を確認できるようになり、運営がスムーズになった。(これまでは真意を確認するため随時休憩を取っていた。)
- 審査過程の見える化が進み、傍聴者にも分かりやすくなった。

### <課題>

- 審査時間が大幅に長くなった。従来は2回ほどの委員会が、委員会2回、委員会協議会3回となり、委員長の負担も大きい。
- 自由討議で各委員の考え方が示されても、各委員の考え方が変わったり近づくことは少なく、合意形成に至るケースは少ない。

審査の正式なプロセスとして導入するには、課題の整理が必要！

本市議会の政策  
討論会と類似

## 2 政策研究会の設置

- 以前は、議員提案による政策提案が多く、議会全体として合意形成に至らないものが多かった。
- 議会基本条例に基づき、市政に関する重要な政策や課題に対して、議会全体として特に共通認識を持って取り組む必要がある場合に、政策的条例案や政策提言等を行うために設置。
- 設置希望の会派代表者が議長へ発議し、会派代表者会で設置の是非を決定。
- 各派から推薦された研究員で構成（無所属議員の参加は、代表者会で決定）

### <実績>

- ① 宝塚歌劇のあるまちをPRし、市民が応援できる状況の創出を目指した条例  
「歌劇のまち宝塚条例」
- ② 障がいをもつ理由とするいかなる差別もない社会の実現を目指す政策提言  
「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる宝塚づくりについて」

## 3 予算・決算特別委員会…一部の議員のみで構成

- 本市のように常任委員会に分割付託せず、特別委員会を設置
- 正副議長を除く24名が、12名ずつ予算・決算の各特別委員会に所属
- 各会派から公平に選任されるよう議運でメンバーを決定
- 委員会初日に正副委員長の互選を行い、各委員会の運営方法を決定
- 委員会の審査内容は、委員が会派に持ち帰り、共有する方法

#### 4 市議会危機対策支援本部の設置

- ・ 平成25年7月の市庁舎放火事件を契機に、議会としての危機管理体制の整備を目指し要綱を制定。
- ・ 市の災害対策本部の設置された時に発動し、議員の安否確認や情報収集を担う。
- ・ 毎年1月の市総合防災訓練に合わせた訓練を実施。
- ・ これまで支援本部の設置事例なし。

本市議会の「災害時対応要領」と類似

#### 5 議場コンサート、議場講演会の開催・・・H23年度から継続中

- ・ 開かれた議会を目指し、市民が気軽に議場に訪れる機会を提供
- ・ 議場コンサートは、市内在住の音楽家による演奏や「音楽のまち宝塚」にふさわしい内容で3月議会初日に実施
- ・ 議場講演会は、議員の政策立案能力の向上を目指す議員向け研修会を市民にも案内し、議員とともに受講できる。(議席を市民に開放)
- ・ 実施内容は、いずれも正副議長と事務局が素案を作り、会派代表者会で決定。



## 6 議会報告会・・・あくまで議会として審議結果の報告の場

- H23年度から定例会ごとに土日に開催し、現在まで20回(47会場、875人参加)
- 広報広聴委員会が担当。手話通訳の配置、一時保育にも対応する。
- 「議案の審議経過と結果について議会の総意を報告」する場であり、意見や要望を聞く場ではない。(仮に要望等が出た場合は、意見交換にとどめ、当局につないたり、一般質問、政策研究会で検討する等に対応)
- 告知方法は、市広報紙、議会広報誌、ホームページ、フェイスブック、街頭でのチラシ配布、ポスター掲示、FMラジオの活用
- 議会と市民が近づく有効な機会であるが、毎定例会後に実施することによる負担、参加者の減少傾向などの課題があり、報告内容や運営方法の見直しを検討中。

## 7 意見交換会・・・議員個人の意見や考えも述べることができる。

- テーマを決めて発言者を公募、傍聴可としてH26年度から5回実施。
- 発言者の公募など事前準備に5カ月ほどかかる。
- 毎回、試行錯誤しているが、個人的要望が出たり、発言者の応募も少ないため、今後は特定の団体との意見交換など運営方法の変更を検討中。



## ◆ 意見交換会の実績(HPより)

回	実施日	発言者	傍聴者	テーマ
1	H26.7	4	61	宝塚市議会と市議会議員に期待すること
2	H27.8	14	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの活性化について</li> <li>・安心安全のまちづくりについて</li> <li>・子育て、教育について</li> <li>・社会保障について</li> </ul>
3	H28.2	12	53	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革について</li> <li>・子育てしやすい宝塚にするために</li> <li>・宝塚の環境とごみ行政について</li> </ul>
4	H28.8	11	91	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿社会に向けた健康づくりについて (スポーツ、食育、疾病予防など)</li> <li>・観光、商工について</li> <li>・行財政改革について (NTN(株)跡地、宝塚ガーデンフィールズ跡地、公園用地など)</li> </ul>
5	H29.2	7	66	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理について、観光行政について</li> <li>・市政のあり方について</li> <li>・障がい者施策について</li> </ul>

## ～委員の所感①～

- 請願審査では請願者の口頭陳述や紹介議員に出席義務を課して質疑ができること、一般質問通告書やスケジュールの市民への早期周知、議場コンサートの開催、議会報告会や意見交換会、議会基本条例の制定の際には議会広報の臨時号を発行して条例素案や解説を加えて市民と情報共有した点などは参考になる。
- 本市議会と大きく違う点は、予算・決算は一部議員で構成する特別委員会で審査する、政策研究会の設置、議会改革記念誌の発行、テーマを設けての意見交換会の開催、などである。特に参考にすべき点は、意見交換会である。本市の議会報告会も低調であり、少数の市民から要望を聞く場になってしまいがちだが、その打開策としてテーマを設けた意見交換会は、議員個人の意見が言える実り多いものになっていると感じた。
- 議会基本条例の制定過程で精力的に市民の意見を聞く機会を設けたことは評価すべき（パブコメだけで完結してしまい、それで市民の意見を反映したと錯覚する部分がある）。議会報告会はその議会でも参加者が減少傾向であり、その目的を含め再考する時期に来ているのではないかと思う。委員会審査での自由討議は興味深い。議員間の情報共有が進み、多くの視点から議案を見ることで審査の深まりを感じる。「チーム議会」と表現しているが、市民に開かれた議会になるためには、議員同士が討論して合意形成することが望ましい。議会図書室にも年間40万円の予算が組まれ各分野の資料が充実しており、政策形成に役立っていた。

## ～委員の所感②～

- 質問、否の公表など、他の市議会にない議会運営がなされていた。型にはまらない柔軟な取り組みが参考になった。
- 一般質問を先に行った後に議案審議を行う従前のやり方から、議案審議を先に行うことで審査を充実させているほか、自由討議を導入するなど力を入れていた。議会報告会とともにテーマを決めて市民に呼びかける意見交換会も行っており、検討してみる課題だと感じた。
- 議会基本条例に基づき、議案審査の日程を大幅に変更し、常任委員会審査において議員間の自由討議を導入。市民生活に直結する議決責任の方が大きいと考え、議案審査を優先し、議案審査終了後に一般質問を行っている。本会議で市長から提案理由の説明を受け、即日各常任委員会に議案の付託を行う。その後委員会を3回、委員会協議会を2回実施。1回目の委員会では当局から議案の詳細な説明を受け、その後、委員会協議会で委員のみで論点整理を行い、その上で2回目の委員会において、質疑、自由討議、討論、採決を行っている。後日議案に対する質疑、答弁、自由討議、討論及び採決結果をまとめた委員会報告書の内容について協議、調整を行い、委員会報告書を決定する。本市議会でのこれからの課題でもあると感じた。議会基本条例を制定し、条例に法り具現化している点は評価できる。

## ～委員の所感③～

- 自由討議を導入することで議員同士が議論を深め合意形成に努めているようであり、行政の監視機能を強化する面から本市でも具体的に取り組む必要性を痛感した。政策研究会は、会派の枠を超えて調査研究する場として位置付けられており、本市の政策討論会も取組みを充実させていく必要がある。議会報告会は、参加しやすい会場や日時の検討、一時保育の実施、街頭でのチラシ配布など、参加者の確保に苦慮しているようだが、それでも継続して行っており本市においても粘り強く取り組む以外にないと感じた。
- 委員会の自由討議で委員会と委員会協議会を使い分けた対応は理解でき、議員同士の意見交換により合意形成に努めていることは評価できる。委員長報告書の書式も、議案ごとに概要・論点・質疑・自由討議・討論・審査結果などを項目別に記載しており、他委員会所属委員にとって審査過程がわかりやすく情報共有方法として参考にすべきであろう。議会広報紙は公文書であることから、議員作成の原稿をもとに事務局で編集しており、情報公開が原則であっても事務局のチェックは必要であろう。政策研究会の設置は評価できる。本市の政策討論会は議員間の目線の違いや情報量等の問題もあり、運用面でまだ多くの課題が残っている。

# 京都府 福知山市

平成29年2月末現在

人口	79,458人
世帯数	35,890世帯
面積	552.54km <sup>2</sup>



○26年度決算

一般会計歳出決算額	財政力指数	経常収支比率
427億1,945万円	0.54	92.7%

うち議会費決算額	議会費の割合	議員数
3億318万円 (日向市2億3,650万円)	0.7% (日向市0.8%)	26人

# 福知山市議会の組織

区分	委員会名	定数	主な所管・調査事項
常任	予算	25	予算
	決算	24	決算
	総務	7	市長公室、総務部、財務部、会計室、消防本部
	市民地域	6	地域振興部、市民人権環境部
	教育厚生	6	福祉保健部、教育委員会、市民病院
	産業建設	6	農林商工部、土木建設部、上下水道部、農業委員会
	議会運営	9	議会運営
特別	由良川改修促進	12	由良川改修事業の促進と由良川の完全な治水
	4年制大学の在り方検討	7	4年制大学の在り方

## ◆協議、調整の場

- ・全員協議会
- ・各派幹事会
- ・委員長会議
- ・議会報酬等検討委員会
- ・広報広聴委員会
- ・議会改革検討会議・・・**議会改革を担当**

# 特色ある議会運営

## 1 予算決算審査の常任委員会化…分割付託の問題点を解消

- 従来、当初予算や決算は特別委員会を設置して審査、補正予算は分割付託  
⇒ そもそも特別委員会は、特定の事件について一定期間に審査するもので、恒常的・定期的に審査する予算・決算特別委員会の設置に疑問  
⇒ 分割付託は、「議案不可分の原則」から不適切な取り扱いとの指摘に加え、
  - ① 予算の総合的・一体的な審査が困難
  - ② 修正案を出すことが困難
  - ③ 各委員会の採決結果が異なった場合、本会議の議決判断が困難といった問題点がある。

### 【地方自治法の改正】

H12 常任委員会設置数の制限撤廃

H18 常任委員会の複数所属が可能

H23 常任委員会の選任方法、在任期間等を条例に委任



委員会運営について、各地方議会に選択の幅を広げ、  
委員会活動を活発化するための条件整備



予算・決算審査の常任委員会化

- 予算委員会は議長を除く全員、決算委員会は議長・監査委員を除く全員で構成
- 予算・決算の関連性から、予算委員会と決算委員会の正副委員長は同一議員

### <導入効果>

- 全員で構成するため、審査過程を共有でき、総合的・一体的な審査が可能
- 当初、補正という予算の継続性の観点から年度を通じた審査の合理性が確保
- 決算審査を政策評価や調査研究に活かし、翌年度の予算審査に反映
- 議会全体で調査研究し自由討議を深めるなど、政策提言を行う場としての機能
- 分割付託の問題点の解消

### <留意点>

- 日程上、予算委員会後に常任委員会を行うので、委員会審査期間が長期化する。



効率的な会議の運営と、審査の充実の両面から検討する必要あり。

### 行政実例

(S29.9.3行政課長回答)

予算は不可分であって、委員会としての最終的審査は一つの委員会において行うべく、二以上の委員会で分割付託すべきものではない。

## 2 出張委員会の開催・・・年1回以上、議案に関連する団体等と意見交換

### 【議会基本条例第18条】

3 委員会は、市民の積極的な傍聴を募るため、出張委員会等（福知山市役所本庁舎以外で開催する常任委員会等をいう。）を行うことができる。

- ① 委員会の調査・研究テーマ
- ② 閉会中の調査事項
- ③ 所管事項に関する重要施策

から各委員会が適切な案件を選定

- ・ 関係者等から説明や意見を求めて会議の充実を図る。
- ・ 議員間の自由討議や関係者・傍聴者と意見交換
- ・ 参考人制度とは違い、参加者への費用弁償は支給しない。

### <実施例>

- ・ 地域協議会、消防団、障がい者団体・・・

#### お知らせ

2016.02.17

#### 教育厚生委員会出張委員会の開催について

教育厚生委員会出張委員会を次のとおり開催します。  
予約は必要ありませんので、多数ご参加いただきますよう、お知らせします。

○とき 平成28年2月19日(金)午後6時から

○ところ 総合福祉会館 3階32号室(内記10-18)

○内容 「手話言語条例の制定について」

教育厚生委員会委員と福知山聴覚障害者協会、福知山難聴協会、手話サークル、要約筆記サークルの会員の皆さんと意見交換を行います。

### 3 自由討議・・・申し出により実施

#### 【福知山市議会の「自由討議」の定義】

市政全般や個々の政策に対して、議員が賛成・反対の意思表示をするだけでなく、議員間で活発に議論することにより、意見の一致点や対立する論点をより明確にし、議員一人ひとりの考え方や審査過程を広く市民に発信するもの

- 議会基本条例に「議会は、会議においては、議員相互間の自由討議により議論を尽くして合意形成に努めなければならない」と規定
- 委員長又は委員の提案により、委員会に諮って実施
- 質疑の終了後（討論前）に行い、内容は議会報に掲載

### 4 請願趣旨説明会の開催・・・請願者が会派代表者に内容を説明する場

- 議会基本条例に「議会は、請願及び陳情を市民による政策提言と位置づけ、提出者が希望した場合は、その委員会審査又は調査において、意見を直接述べることができるよう配慮しなければならない」と規定
- 定例会初日に説明会を実施する旨と、審議日程をホームページで周知
- 各派代表者が出席し、請願者の説明を聞き、賛同した議員が紹介議員として署名したものを事務局へ提出。



従来は請願者が個別に各派を回って依頼していたため、負担の解消が図られた。

## 5 議員報酬、議員定数の検討・・・市民アンケートを実施、議会側から提案

- 市報酬審議会から減額答申を受け、議長が「議会自ら検討しよう」と発議し、23年度に副議長と会派代表者による検討委員会を設置

### 【議会基本条例第24条】

- 3 議員定数及び議員報酬の条例改正案は、市長が提案する場合及び法第74条第1項の規定による市民の直接請求があった場合を除き、改正理由の説明を付して議員が提案する。⇒ 報酬等審議会への諮問不要

- 25年度に市民アンケートを実施し、検討を重ねた結果、27年4月の改選時の定数と報酬は「現状維持」
- 28年度は議員定数を検討し、「次期改選期には定数を削減する方向性」で一致。全協での報告・意見交換、2月に市民と意見交換、3月に委員会報告を行う予定

## 6 高校生フレッシュ議会の開催・・・主権者教育の一環

- 民主主義の原則や地方自治の実践を学習する機会を提供
- 行政や議会への関心度を高め、街づくりに参画する意識の高揚を図る。
- 市が公募した「H27地方創生まちづくりアイデア買い取り事業：優秀賞」を事業化
- 企画・運営は、議会改革検討会議が担当。京都府立大江高校3年生17名が参加
  - ① 高校生が「法やルールに関する教育の一環」として一般質問を傍聴
  - ② 後日、議員と生徒の懇談会を開き、議会制度や市政課題について意見交換
  - ③ 後日、議員団が高校を訪問し、アドバイスやグループワークを実施
  - ④ 本番

## その他の取組み

- 議会報告会は、誰でも参加できる**意見交換会**と、平成27年度からは特定の団体を相手にテーマを決めて行う**座談会(対話集会)**を実施
- 公開、ネット中継を行う、議長・副議長・監査委員・正副委員長の職を志す者の**所信表明会**の実施
- 公開、ネット中継を行う、会派及び委員会の**行政視察研修報告会**の実施
- 政務活動費収支報告書の市役所情報公開コーナーでの公表、議会だより掲載
- 議長の広報活動として、記者会見、FMラジオ出演
- 本会議、委員会のネット中継・録画配信
- 花火大会露店爆発事故や台風災害を契機に、災害発生時議会対応要領の作成
- 本会議及び委員会では、議案書や資料などの会議資料を傍聴者に配布
- 傍聴者の希望に応じて、本会議及び委員会に手話通訳者を派遣



高校生フレッシュ議会



議会報告会(座談会)

## ～委員の所感①～

- 予算・決算委員会の常任委員会化で全議員が審査過程を共有し、総合的・一体的な審査と継続的な政策評価や調査研究ができ、次年度の予算編成や予算執行に反映されている。議会報告会以外に意見交換会や出張委員会を開催していること、議員定数・議員報酬について議会基本条例で議員自らが改正理由を付けて提案できるよう定めている点も参考になった。
- 本市との違いは、高校生フレッシュ議会や地元高校生との懇談会（学校訪問）、市民の積極的な傍聴を募る出張委員会、請願趣旨説明会などである。特に、全議員による予算・決算審査は、市全体の事業についてより深く各議員が理解することができることから、ぜひ本市でも検討すべきと感じた。
- 予算・決算委員会の常任委員会化の効果として、審査過程の共有、予算の総合的・一体的な審査をあげている。確かに分割審査よりも全体を把握でき、市政の方向性がより理解できることから市民への説明内容も広がる。議会報告会は、本市同様、参加者が減少傾向だが、対話方式の座談会を実施していた。また、年1回以上の出張委員会を開くなど市民の元に入っていく姿勢が興味深い。どこの議会でも市民との距離感を感じているようであり、市民に開かれた議会を目指すためにも市民の元に出向く姿勢は望ましい。市民参加の意識を醸成させるのは時間がかかるが、まずはやってみる必要性を感じる。積極的に市民の元に出向くことが距離を縮める秘訣と考える。

## ～委員の所感②～

- 全議員による予算・決算審査、議員報酬検討委員会の常設など独自の議会運営がされており、「オール議会」として取り組まれている様子が参考になった。
- 議員全員での予算・決算審査の常任委員会化は、分割付託している本市でも再考する必要があると感じた。議員報酬や議員定数については、議会基本条例に議員自らが考え判断し、市民への説明責任を果たすため改正理由を付けて議員が提案することと規定している。併せて、報酬等検討委員会を任意設置し、議員や市民の意見を聞いて議会に提案することとしている。本市では特別職等報酬審議会に一任している状況であり、自らのことは自ら提案する姿勢は必要と感じた。委員会会議は、正副議長、各委員長（必要に応じ副委員長も）で構成し、各委員会の連絡・調整に関する事項、議長の諮問に関する事項等を協議するものであり、本市での検討の必要性を感じた。
- 議会基本条例策定後、仔細にわたる条例の運用基準を定めており、緻密な計画の下、基本条例を具現化している。議会改革検討会議、出張委員会、高校生フレッシュ議会等、市民に開かれた議会をめざしチーム福知山市議会として精力的に取り組んでいる。議員報酬及び議員定数等についても、議会自ら議員報酬等検討委員会を任意で設置し、議会報告会の場で議員報酬や議員定数について市民と意見交換もしながら、説明責任が果せるよう議会として議論し結論を出そうとしている。本市も日向市議会基本条例制定後、基本条例をいかに具現化できるかが課題である。

## ～委員の所感③～

- ここでは、本市同様に一般質問・代表質問を委員会前に行っていたが、予算審査を丁寧に行っていた。議会基本条例の逐条解説を読むと、かなり高度に練り上げられていることがわかった。高校生フレッシュ議会も新鮮な取組みとして貴重である。請願の取り扱いも提出者が希望すれば直接意見を述べることができる配慮も評価できる。
- 議長による記者会見は、議会の情報公開を目的としているが、インターネットによるライブ中継・録画配信も行われており、審議結果等のみの公開ならばパフォーマンスに終わるのではないかと懸念される。傍聴者の希望による手話通訳者の派遣は、費用負担をはじめ関係者の関心、要望の把握など精査も必要である。議員定数・議員報酬の検討は、行財政改革の側面だけでなく市政の現状や将来展望を踏まえて総合的に検討することとされており、検討委員会を任意設置していることも画期的である。議会の質の向上はもとより、議会の活性化が叫ばれる中、立候補者の確保のためにはある程度の生活の保障等も考慮する必要から一考に値する課題であろう。予算・決算審査の常任委員会化は、本市ではこれまで説明資料の配布や部長説明、通告制による質疑、委員会審査での部課長説明のカットなどで日程短縮や効率化を図っていることは良いが、所属外の委員会資料を配布されていても会派内で審議結果等の説明や伝達が十分とは思えない。全議員による審査は、情報収集や多面的な審査意見を踏まえて慎重な審議ができることから、導入の検討をすべきであろう。

# かけはし

第231号 平成29年(2017年) 2月1日(木曜日) 発行 宝塚市議会



皆さんはどれだけ  
名前がわかりますか?  
【答えは16面】  
写真提供 宝塚野鳥の会  
宝塚市自然保護協会

ことしの干支にちなみ、市内に生息する野鳥を集めてみました

## 12月定例会の概要

- 平成27年度一般会計・特別会計**決算**を認定
- 手話**は一つの**言語** 手話言語条例を制定

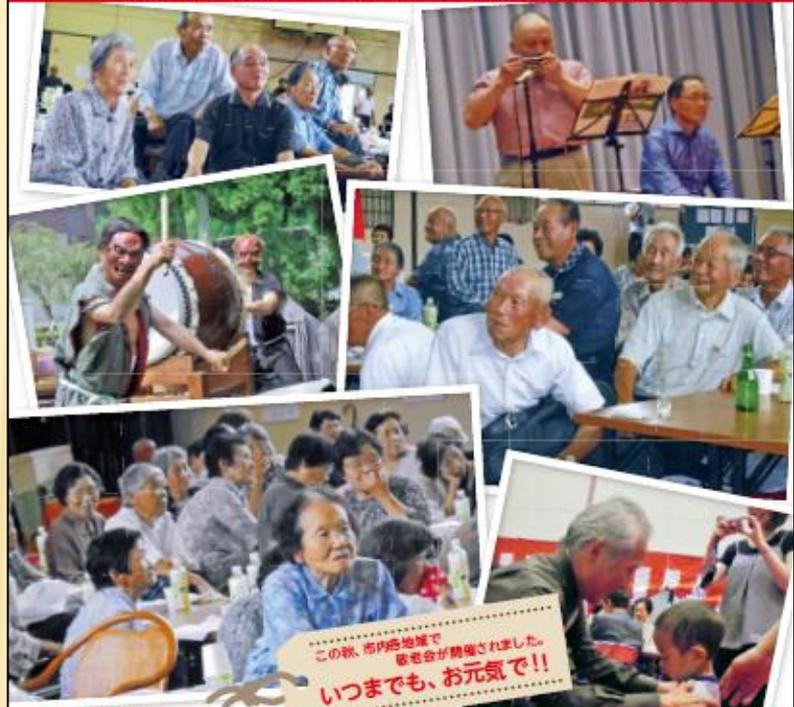
ホームページ <http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/gikai/index.html>

宝塚市議会 で検索

# 議会だより



発行/福知山市議会 ■編集/広報広聴委員会 ■平成28年11月発行 No.110



## 主な内容

9月定例会の概要	2	決算・歳入歳出・運営・12月定例会の予定	10
予算審査委員会審査報告	3	一般質問	11~19
決算審査委員会審査報告	4~7	委員会の活動報告	20~22
9月定例会 委員会審査報告	8	議会報告会・議員懇談会特別委員会	23
討論・議決結果	9	元気で福知山! [福知山新聞紙芝居愛好会]	24

※ 本書の写真の一部は、「宝塚市議会ホームページ」、「宝塚市議会だより」、「福知山市議会ホームページ」、「福知山市議会だより」から引用しました。

